

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025 年 10月 8日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団
会 長 藤 洋 作 様

所属部局・研究科 京都大学アジア・アフリカ地域研究研究科

職 名・学 年 博士一貫課程5年生

氏 名 増田 初希

助 成 の 種 類	令和7年度 ・ 国際研究集会発表助成		
研 究 集 会 名	International Primatological Society Congress (国際霊長類学会大会)		
発 表 形 式	☐ 招 待 ・ ☒ ☐ 口 頭 ・ ☐ ポスター ・ ☐ その他(		
発 表 題 目	Can primate watching attract tourists? : the economic impact of ecotourism in Madagascar's tropical forests.		
開 催 場 所	マダガスカル共和国・アンタナナリボ・Novotel Convention		
渡 航 期 間	2025年 7月 18日 ～ 2025年 9月 28日		
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 ☒ 無 ☐ 有()		
会 計 報 告	交付を受けた助成金額	350,000円	
	使用した助成金額	350,000円	
	返納すべき助成金額	0円	
	助成金の使途内訳 (差し支えなければ要した 経費総額をご記入ください)	費 目	金額(円)
		航空運賃(航空券32万円のうち)	269,000
		宿泊費7泊	24,000
		滞在費 交通費・食費	13,000
		学会参加費	39,000
その他 ビザ		5000	
以上に助成金を充当			
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきま す。) 本助成による支援があったため国際学会への参加を躊躇せず行うことができました。ご支 援に大変感謝しています。		

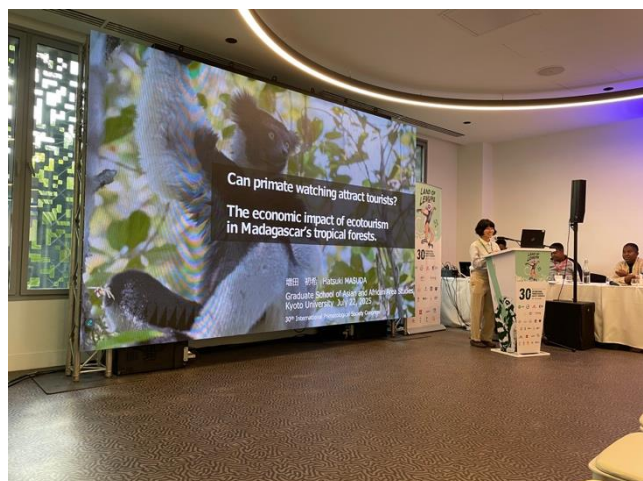
成果概要 / 増田 初希

報告者は2025年7月20日から同年7月25日にマダガスカルの首都アンタナナリボにて開催された第30回国際霊長類学会大会(International Primatological Society Congress)に参加し口頭発表を行った。発表に際するタイトルは”Can primate watching attract tourists? : the economic impact of ecotourism in Madagascar’s tropical forests”である。報告者の発表の内容はマダガスカル東部熱帯雨林地域で行われるエコツーリズムに焦点を当て、質問表調査をもとにエコツーリズムが観光客にどのように受容されているか、また村の各家庭を訪問し半構造化インタビューを実施、その経済利益が住民の暮らしにどう影響するかを言及したものである。

発表当日は会場にてオンライン録画が行われ、学会員が後日参照できる運びとなっていた。12分の口頭発表ののち、3分間の質疑が行われた。時間内に回答できたものは3件に留まり、発表後の非公式な場所で追加のコメントや質問の受け入れを行った。寄せられた質問は現地のマダガスカル研究者・学生によるものが多く、エコツーリズムの良い側面のみでなく、住民へのリスクの関心が高いように思えた。また、発表が現地の人の関心を得たとも感じた。

会場は開催日ごとに4-5つの発表部屋に分けられ、ジャンルごとに区切られ発表が進行しているようであった。今回の開催は大会の日程が変更されたことも関係してか、オンライン接続での発表や、事前に録画した発表も大変多く見られた。一方で、オンライン回の参加者は多いとは言えず、自分も含め対面での交流を好む参加者が多いように感じられた。霊長類の行動に関する分野では中国の研究者を筆頭にAIを用いた自動記録型の技術が多く提案され、従来の行動観察の方法を一新するアプローチも見られたことが新鮮に思えた。また、開催国のマダガスカルの研究者や学生による発表を多く聞くことができ、マダガスカル人研究者の関心や各調査地での研究分野が発表を通じて明らかになったことも自身の研究の糧になるように感じた。

当助成を通じて得られた貴重な経験と成果に深く感謝いたします。ご支援を賜りました関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。



(図)報告者の発表時の様子